

50th

令和5年度6月号 [6月15日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の1
TEL268-4506 FAX268-4761
特別支援学級 TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
<https://kishikawa.official.jp>

何しに来たの？

校長 松田 隆幸

坊さん：みなさんどこから来たの？ 生徒：川口いー！ 坊さん：川口と問い言えば？ 生徒：鋳物おー！ 坊：他には？ 生：……。 坊：まーええか。では、奈良と言え？ 生：鹿カーーー！ 坊：んんん、で、他には？ 生：大仏うー。 坊：んん、そうやな、東大寺さんやね。で、もすこし、君たち、現実を考えよう！今君たちがいるところはどこなんやろ？ よく考えて答えるように、。。。そんな楽しいオープニングトークから始まりました。坊：で、君たちは、そもそも修学旅行に何しに来たん？の問が発せられました。坊：勉強でしょ？ 勉強なんです。でも、学校を離れて勉強するってどういうこと？ 教科書にはないことを勉強するんです。何を勉強するんですか？そいれは一人一人が違うことを勉強することになります。学校では、先生が教科書や黒板に書いた同じことを全員が覚える勉強でしょうけれども、修学旅行は違う。自分で勉強すべきことを探して、自分で勉強の仕方を考えて、自分で答えを出していく。この学びが大切なんです。それともう一つ。修学旅行は、夜が楽しい。お風呂に入って、ご飯を食べて、エネルギーチャージして、夜を迎える。その内枕が飛び交うこともあるだろう。そして、騒いでいると先生に見つかって、叱られる。だから、見張りを立てるんだ(生徒笑)。そうすれば一瞬のうちに情報は共有され、君たちの楽しい夜は保証される。でもな、叱ってくれる先生っていうのも中学校にいる時だけ。中学校を卒業すると叱ってくれる人はいなくなる。だから、人はそれまでの間に、自分で学ぶことを探し出す力と修正、改善するための方法を考え出すなどの力を身につけなければならない。このような内容を面白おかしく説いていただきました。このお坊さんのお話を生徒達は、それは、それは普段の授業では見られないような集中力で、食い入るように聞いていました。

お坊さんのご指導よろしく、3年生は、普段の学校生活を離れ、一人でくつろぐ時間もない中で、みんなでルールを守り、集団の中の自分を考え、自分の周囲を不愉快にさせないなど、「大人の気遣い」をも学び、大きな収穫を得たようです。

お坊さんの教えを受け、49期生の修学旅行は、事故、怪我もなく、笑顔で終わることができました。先生方の献身的な指導もさることながら、修学旅行を支えてくれた業者さんをはじめ、京都の市民の皆さんが温かく修学旅行生を受け入れてくれました。お宿の方々、緊急で移動をする際のタクシーのドライバー、JR東海の方、すべての関係者の方々に感謝します。今回のお坊さんから頂いた学びの仕方については、まさにこれからの学校で指導していくスタイルであります。私もお坊さんからの学びをもう一度考え、お話を活かした毎日を送ろうと思った次第です。

11月24日は創立50周年記念式典&合唱コンクール

2023 Kishikawa.J.H.S 50th ANNIVERSARY

